

## 2月の災害教訓カレンダー

日	災害	教訓
1	1666年 越後西部で地震 高田城破損、死者1500名。積雪が被害を大きくしたとみられている。	
2	1961年 長岡地震 震度4であったが、2mほどの積雪があり、5名死亡、住家全壊220戸(震央付近の全壊率50%)などの被害が出た。	
3	1922年 北陸線列車雪崩直撃事故 この年は雪の多かったが、この日は大雨になり市振駅と親不知駅の間で雪崩が発生した。すぐに復旧作業が行われたが大雨のため進展せず、糸魚川へ帰る途中起こった雪崩が列車を直撃した。死者90名。	
4	1966年 全日空機東京羽田沖墜落事故 日本初のジェット旅客機の事故で、単独機としては当時、世界最悪の民間機事故となった。原因は今だ不明である。乗客・乗員133名全員が死亡。	
5	1969年 磐梯熱海温泉・磐光ホテル火災 ホテル大広間舞台裏の控室から出火。自動火災報知器が故障していて感知せず、全館が停電し、さらに非常口が施錠されていた。31名が死亡。	この火災の半年前に、消防法の防災規則が改正されていたが、同館では改修されておらず、これ以降可燃物の防災規制が急速に進められた。
6	1944年 第六垂水丸沈没事故 定員の2倍以上の人が乗船し、カーブで横転、沈没。死者106名。行方不明者約450名。	
7	1993年 能登半島沖地震 M6.6、石川県輪島市で震度5。負傷者30名。	
8	1982年 ホテルニュージャパン火災 部屋から煙が出ているのを発見したが、消火に失敗、火災報知機も作動しなかった。死者33名。	この火災を教訓に東京都・東京消防庁・国は「再三にわたる防火体制不備の改善指導に応じない事業所はその名前(実名)を公表&刑事告発」するようになった。
9	1970年 かりふおるにあ丸遭難事件 野島埼東方沖合海上で、異常な大波を受け亀裂が生じ浸水。船長が退船断り残留。船長含め5名死亡。	緊急時の“船長最後退船義務”が「船員法」で規定されており、その規定をなくすきっかけとなった。
10	1996年 北海道豊浜トンネル岩盤崩落事故 北海道積丹半島を走る国道229号線の豊浜トンネルで、真上の岩山から岩盤が崩落し、通行中の路線バス、乗用車各1台を直撃し押しつぶした。死者20名。	この事故を契機に全てのトンネルに対する点検のあり方を、根本的に見直すべきとの指摘がなされた。
11	1986年 ホテル大東館火災 別館より出火。木造3階建てで、当日は異常乾燥注意報が発表されている中、火は見る見るうちに大きくなった。死者24名。ほとんどの人が就寝中に気付かず亡くなったとされている。	
12		
13	1869年 ハーマン号沈没事件 戊辰戦争の時、アメリカから雇った蒸気船ハーマン号が悪天候により遭難。暗礁に乗り上げた。死者225名。	
14	1951年 伊豆諸島海域漁船連続遭難 冬型低気圧の影響で、東京では風も強く猛吹雪に襲われた。124隻の漁船などが三宅島付近で遭難し沈没43隻、行方不明9隻、流失46隻、15隻が損壊した。	
15	1961年 サベナ航空548便墜落事故(ベルギー) ブリュッセル近郊で発生した航空事故で、乗客乗員全員と地上にいた1名合わせて死者73名。世界フィギュアスケート選手権に向かう途中のアメリカ代表チームが搭乗しており、全員が犠牲となった。	
16		
17	1955年 横浜聖母の園・長老院火災 炎は木造2階建ての同院と隣接する聖堂など4棟を焼き尽くし、就寝中の入居者144名の内99名が死亡。	
18		
19	1955年 昭和30年九州、北日本強風災害 八戸で瞬間最大風速41m/sなど、被害は全国に及んだ。死者16名、行方不明者104名。	
20	1949年 能代昭和24年の大火 焼失面積は市街地の42%にも上り、3名死亡、265名負傷。能代史上最大の火災となった。	この大火後、火災警報の発令権を、都道府県知事から市町村長へと移し、消防組織法の改正、消防施設強化促進法の制定へと消防体制を強化した。
21	1968年 えびの地震 M6.1。2時間ほど前に M5.7の前震、翌日にも M5.6の余震があった。死者3名。山崩れが多発発生。	
22	863年 インフルエンザ大流行 初めて公式な史記に記録された。用語は咳逆。朝廷内でも流行し、死者が出た。	
23		
24	1660年 江戸湯島万治3年天神前の大火 大名屋敷23軒、武家屋敷45軒、町家2358軒、町数にして119町が類焼。死者95名。	幕府はこれら頻発する火災に対し、初の町家防火対策を示達した。
25	1947年 国鉄八高線脱線転覆事故 超満員の乗客を乗せ、築堤下り坂急カーブを進行中曲がりきれず後部4両が脱線、うち3両が築堤下へ転落。死者184名。	事故後、車体の鋼製化が決まったが、コスト的に困難なため、当面の処置として、木造客車の台車と台枠の上に鋼製車体を載せる形の改造が実施された。
26	1854年 阿蘇山噴火 噴火により、参拝者3名死亡。	
27	1932年 飛行艇白鳩号墜落事故 航路の八幡市上空周辺は吹雪のため視界が悪く、山中に迷い込んだ末、河内貯水池近辺に墜落、乗員5名が死亡。	
28		
29		

